

沿革と自然

01

## 1. 沿革と自然

### 沿革

取手という地名は、戦国時代に大鹿太郎左衛門の砦があったことから、名付けられたといわれています。しかし、平安時代末の11世紀には、伊勢神宮の相馬御厨として、取手市周辺がすでに史料に記されており、さらに13世紀になると、稲村、戸頭、高井、大鹿などといった地名も、相馬氏の領地として史料に現れはじめます。また、市内からは、中妻貝塚や向山貝塚などといった縄文時代の遺跡をはじめ、旧石器時代から奈良・平安時代にかけての遺跡が78カ所も発見されており、古くから人々の生活の地であったことがわかります。

水戸街道が天和・貞享年間（1681～1688）につけ替えられると、取手は北相馬地方の中心を担う宿場町として発展しました。その名残は、今でも取手宿本陣にみることができます。そのころになると、利根川を利用した水運も盛んになり、戸頭・取手・小堀には河岸が設けられ、特に小堀は荷物の積み換え河岸として栄えました。その一方で、利根川や小貝川に面していた取手市域は、度重なる水害に悩まされました。特に、吉田、青柳などは低地のため被害も大きく、今でもこの地に残る水屋が当時の水との戦いを物語っています。

明治維新を迎えると、明治4年の廃藩置県によって市域は印旛県に属し、さらに明治6年には千葉県に、明治8年には茨城県に編入されました。また、明治18年の地積編成によって取手宿と大鹿村が合併して取手駅となりました。明治22年には市制町村制の施行により、取手町（取手駅・台宿村）、寺原村（寺田村・桑原村）、井野村（長兵衛新田・青柳村・吉田村・小堀村・井野村）、稲戸井村（稲村・野々井村・米ノ井村・戸頭村）、高井村（上高井村・下高井村・貝塚村・市之代村・同地村）、小文間村の1町5カ村が誕生しました。

その後、昭和22年には、井野村と取手町が合併して取手町となり、さらに昭和30年2月には町村合併促進法により、取手町・寺原村・稲戸井村・高井村・小文間村が合併して新しい取手町が誕生しました（高井村のうち同地村は、守谷町に合併）。

その後、昭和40年代の高度経済成長期には、首都圏近郊都市として、県下初の日本住宅公団による住宅団地の開発や民間による宅地開発、及び民間大手企業の進出により人口が急増し、昭和45年10月には県内17番目の市制を施行し取手市が誕生しました。昭和50年代に入ってから、住宅・都市整備公団による戸頭団地をはじめとした宅地開発が進み、その一方で、それらに対応した都市基盤の整備にも力が注がれました。昭和57年11月には地下鉄千代田線の取手駅までの相互乗り入れが開始され、同年12月には関東鉄道常総線の複線化が完成するなど、首都圏からの南の玄関口として発展してきました。

昭和60年代から平成にかけては、取手駅周辺地区の開発や東京芸術大学取手校地が開学、後に先端芸術表現科が開設されたことを契機に、市民・大学・行政が一体となってまちづくりを進め、文化創造・発信の地となるよう様々な事業を展開してきました。

平成17年3月28日には、取手市と藤代町が合併し新たな歴史の扉が開かれました。首都圏の近郊都市として、また利根川や小貝川の恵まれた河川空間を活かし、自然と共生したまちづくりを進めています。

## 位置

方位	地点	東経	北緯	距離
極東	小貝川・大留付近	140° 09′	35° 53′	14.3 km
極西	利根川・新大利根橋付近	140° 00′	35° 54′	14.3 km
極南	利根川・小貝川合流点（小文間）	140° 08′	35° 52′	9.3 km
極北	小貝川・市之代付近	140° 01′	35° 57′	9.3 km

資料：国土地理院

参考／取手市役所の位置 東経 140° 03′ 10″ 5534・北緯 35° 54′ 28″ 1145  
 海拔 21.0m



## 取手市のあゆみ

西暦	年号	主なできごと
1955	昭和30	町村合併により取手町誕生 第8回国勢調査 人口21,233人 米の予約売渡し制度始まる（注）この頃の玄米1石9,755円
1956	31	
1957	32	第1回町営競輪開催
1958	33	学校統合により第一小学校（取手小学校）、第二小学校（井野小学校）が取手小学校となり、第三小が白山小学校と改称される
1959	34	町議会議員定数26人に改正
1960	35	町立井野保育所開所 町立永山保育所開所 第9回国勢調査 人口22,582人
1961	36	常磐線上野～勝田間電化開通 キャノン取手工場操業開始
1962	37	
1963	38	取手町章（現市章）制定 町営舟山住宅完成
1964	39	取手初のプール完成（取手小学校） 取手駅西口開設 町営下沼住宅完成
1965	40	第10回国勢調査 人口26,179人
1966	41	町営南第1住宅完成 電話自動化になる（取手局開局） 町営南第2住宅完成
1967	42	町立寺原保育所開所 取手駅西口街路完成 茨城県南水道企業団設立 竜ヶ崎地方衛生組合設立 東観団地入居開始
1968	43	町営野々井住宅完成 人口3万人を超える 取手町消防庁舎完成 取手一高甲子園初出場（第50回大会） 用途地域指定 都市計画街路の変更
1969	44	町営野々井第2住宅、西方住宅完成 取手町福祉協議会設立 町立井野小学校開校 取手町、藤代町環境衛生組合設立 県南水道取手浄水場完成

西暦	年号	主なできごと
		井野公団住宅入居開始 取手一高2回目の甲子園出場（第51回大会） 大利根橋架替工事着工 町営大利根住宅（第1期）完成
1970	45	県道、取手下館線国道294号線に昇格 町営大利根住宅（第2期）完成 竜ヶ崎市外稲北一部市町村伝染病隔離病舎組合設立 婦人交通指導員制度発足（県下初） キリンビール工場操業開始 町立福社会館完成 市制施行、市役所庁舎寺田に完成移転 第11回国勢調査 人口40,287人 取手市総合開発基本構想決定 第1回美術展
1971	46	「交通安全都市」宣言 市立吉田保育所開所 市営大利根住宅（第3期）完成 取手、藤代環境衛生組合焼却場完成 国電快速電車開通 取手二中体育館完成 1都6県利根川水系連合水防演習 市議会議員定数30人に改正 市立舟山保育所開所
1972	47	第1回マラソン大会開催 市営大利根住宅（第4期）完成 常総地方広域市町村圏事務組合設立 取手一高甲子園出場（選抜44回） 取手市敬老年金支給制度実施 新大利根橋片側開通 心身障害児童福祉手当支給制度実施 市の木（もくせい）、市の花（つつじ）制定される 第1回市長への手紙実施 市役所機構改革（1室、3部、21課） 住居表示開始（白山1丁目、新町1.2丁目、取手1～3丁目、中央町） （財）都市開発公社設立 「暴力追放都市」宣言 二本松遺跡の発見 市民のうた決定 名誉市民第1号に中村金左衛門氏 第1回市民体操祭開催 戸田井橋架け替え開通

## 1. 沿革と自然

西暦	年号	主なできごと
1973	48	市民会館完成 老人医療費70歳以上無料化 「自主納税都市」宣言 市営駒場住宅完成 市立白山西小学校開校 市立白山保育所開所 0歳児・重度心身障害者・寝たきり老人の医療費無料化 第1回市長と語る会実施 第1回施設見学会実施 取手地区高等職業訓練校開校 取手地区交通少年団結成 新しい用途地域決定 宮入貝の生息調査（日本住血吸虫） 取手一高3回目の甲子園出場（第55回大会） 取手小学校創立100周年 生活安定緊急対策本部設置（石油ショック）
1974	49	電子計算機導入 清掃手数料の無料化実施 市営駒場第2住宅完成 取手警察署桑原へ移転 勤労青少年スポーツセンター完成 常磐線複々線工事着工 取手市幼児交通安全ひまわりクラブ結成 常総環境センター操業開始 寝たきり老人見舞金制度開始 第29回国民体育大会開催 （取手市は自転車競技・茨城県 夏季・秋季とも総合優勝） 納税の口座振替制度開始 第1回福祉大会 国土利用計画法実施 大利根橋全面開通
1975	50	寺原第一土地区画整理組合発足 住居表示実施（東1～6丁目、台宿1.2丁目、井野1～3丁目、井野台1.2丁目、井野団地、青柳1丁目） 土地開発公社設立 老人福祉センター白寿荘（常総広域）完成 小文間公民館完成 関東鉄道戸頭駅開業 市立戸頭西小学校開校 戸頭下水終末処理場運転開始 戸頭北、台宿保育所開所 戸頭公団住宅入居開始

西暦	年号	主なできごと
		家庭乳児保育制度開始 人口5万人を超える 桑原第一土地区画整理組合発足 市営駒場住宅完成 第1回取手市民音楽の集い開催 利根川サイクリングコース完成 心身障害児（者）及び付添人交通費支給制度実施 母子家庭医療費無料化開始 消防戸頭分署開設 第12回国勢調査 人口52,816人 取手郵便局稲へ移転 取手市民憲章制定 農業後継者相談員制度実施
1976	51	草刈条例制定 市立戸頭中学校開校 永山公民館開設 誕生記念樹配布制度開始 市役所機構一部改革 竜禅寺三仏堂国の重要文化財に指定される 大気汚染市役所観測局完成 第1回郷土作家美術展開催 市民ダイヤルテレホンサービス開始 取手青年会議所発足 住居表示実施（白山2～8丁目、新町1～6丁目、戸頭1～9丁目）
1977	52	第二次取手市総合開発計画策定 名誉市民故中村金左衛門氏市葬 「交通事故防止モデル市」宣言 取手中央タウン入居開始 市立吉田小学校開校 市立健康管理センター開設 寺原公民館開設 市之代で古墳発掘 常磐線複々線化に伴う利根川橋梁完成 戸頭団地竣工 取手二高甲子園初出場（第59回大会） 総合防災訓練実施 常総運動公園野球場完成 人口6万人を超える とがしら公園完成 市立戸頭東保育所開所
1978	53	市立戸頭東小学校開校 取手二高甲子園2回目の出場（第60回大会）

## 1. 沿革と自然

西暦	年号	主なできごと
1979	54	取手市観光絵はがき発行 市立取手東中学校開校 県消費生活センター取手分室開設 市立図書館開設
1980	55	市役所機構一部改革 心身障害児施設「もくせい園」開園 中央タウンから西口への道路が開通 新大利根橋有料道路開通 青柳集落センター完成 人口7万人を超える 江戸川学園取手高校甲子園初出場（第62回大会） 第1回とりで利根川舟下り 「暴走族追放」宣言 市制施行10周年記念式典が開かれる 第13回国勢調査 人口71,247人 取手駅構内東西連絡地下道開通 取手地方広域下水道組合設立
1981	56	消防吉田分署開所 市立稲保育所開所 老人福祉センター心身障害者福祉センター「あけぼの」開設 高齢者職業紹介所の開設 寺原第一土地区画整理事業 取手二高甲子園3回目の出場（第63回大会） 大型台風15号により小貝川高須橋付近決壊 住居表示実施（新取手1～5丁目） 第1回産業祭、第1回市民音楽祭
1982	57	住居表示実施（西1・2丁目） 働く婦人の家・勤労青少年ホーム完成 市立稲小学校開校 市立高井小学校開校 茨城県企業局利根川浄水場完成 取手、北相馬保健医療センター医師会病院開設 第1回市民水防の日 取手駅前自転車駐車場完成 常磐線我孫子・取手間複々線化完成 千代田線取手駅まで相互乗り入れ開始 関東鉄道常総線取手全区間複線化
1983	58	取手二高甲子園4回目の出場（選抜55回大会） 市立保健センター開設 井野公民館開設 第1回夏休み親子施設見学会 取手駅西口再開発事業着工



西暦	年号	主なできごと
		窓口事務のオンライン化開始 戸頭公民館開設
1984	59	取手二高甲子園5回目の出場（選抜56回大会） 県立取手松陽高等学校開校 取手市商工会館完成 取手二高第66回全国高校野球選手権大会初優勝 市之代古墳8号墳発掘
1985	60	（財）取手市高齢者福祉事業団設立 ミニシルバー人材センター取手市生きがい事業団発足 無料自転車駐車場開設 科学万博で「取手の日」開催 第14回国勢調査 人口78,608人 公共下水道一部地域供用開始 取手駅西口再開発ビル竣工 「東南アジア青年の船」の一行取手市視察 「非核兵器平和都市」宣言 第三次取手市総合計画策定
1986	61	取手駅東口土地区画整理事業工事着工 「緑の保全と緑化の推進に関する条例」を制定 花輪スポーツ公園完成 「青少年健全育成都市」宣言 国指定重要文化財「三仏堂」の修復完成
1987	62	取手宿本陣を市指定文化財に指定 市立野々井中学校開校 白山公民館開館 心身障害者福祉センター開設 取手市特定行政庁となる 高齢者のためのテレフォンサービス開始 （社）取手市シルバー人材センター設立 都市計画道路3・3・1号線開通（常総ふれあい道路）
1988	63	人口8万人を超える 土地取引の監視区域に指定される 放置自転車防止条例制定 取手西口に自転車駐車場開設 「土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例」を施行 取手駅西口「はなのき通り」完成 「取手都市計画取手駅東口地区地区計画の区域における建築物の制限に関する条例」を施行 中国桂林市人民政府友好都市交流科長夫妻表敬訪問で来市 市民課窓口コーナー開設（西口）
1989	平成 元	消防署桑原へ移転

## 1. 沿革と自然

西暦	年号	主なできごと
		消防緊急システムの導入 福祉タクシー料金助成制度の導入 市役所第2、第4土曜日閉庁実施
1990	2	取手市文化事業団を設立 取手市グリーンスポーツセンター開館 財務会計システムを導入 中国桂林市を訪問し、親善友好交流を結ぶ 取手駅東第二自転車駐車場開設 県道藤代板戸井、岩井線の下高井バイパス完成 取手駅東西連絡地下道「ギャラリーロード」に模様替え 市制施行20周年記念式典開催 第15回国勢調査 人口81,665人 東京芸大取手校地施設一部完成 西谷津斎場公園の建設工事着工
1991	3	市消防本部が救急用心電図伝送装置導入 利根川水系水防演習開かれる ひとり暮らし老人緊急通報システム導入 生ごみ処理容器などの補助制度開始 中国桂林市から教育視察団来訪 「健康づくり都市」宣言 東京芸術大学取手校地開設記念式典 新取手駅前に自転車駐車場を開設 第一次市民訪中団中国桂林市訪問 「とりで利根川」健康マラソン
1992	4	火葬場「やすらぎ苑」完成 行政機構2部6課を新設 市民課窓口コーナー開設（戸頭公民館） 取手市東京芸術大学芸術文化懇談会設置 老人保健施設「緑寿荘」開設 東京芸術大学との芸術文化懇談会開かれる 取手市埋蔵文化財取扱要綱制定 東京芸術大学取手校地にて第1回創作展開催 （仮称）取手市郷土資料館建設審議会発足 中妻貝塚で100体を超える集団埋葬遺構を発見 第1回中学生訪中団中国桂林市訪問 東京芸術大学卒業制作展に取手市長賞創設
1993	5	市役所土曜日閉庁開始 中国桂林市長友好代表団来訪 グリーンスポーツセンターの利用者100万人を達成 相野谷川排水機場が完成
1994	6	政治倫理の確立のための、取手市長の資産等の公開に関する条例を制定

西暦	年号	主なできごと
		<p>市役所新庁舎を増築</p> <p>常総広域7市町村で、ごみの新分別方法と統一指定ごみ袋による収集開始</p> <p>取手市在宅介護支援センターを老人保健施設緑寿荘内に開設</p> <p>第1回よかっぺとりで語らいのつどい開催</p> <p>中国・桂林市から研修生として葉紅雲さんが来市</p> <p>東京芸術大学芸術資料館取手館が開館</p>
1995	7	<p>下高井向原遺跡から、平安時代後期の白銅製の和鏡（瑞花双鳳五花鏡）が出土</p> <p>住居表示実施（本郷1～5丁目）</p> <p>住居表示実施（中原町、井野台3～5丁目）</p> <p>市制施行25周年記念式典開催</p> <p>第16回国勢調査 人口84,477人</p>
1996	8	<p>第四次市総合計画策定</p> <p>取手市在宅介護支援センターを取手協同病院内に開設</p> <p>パスポート窓口を市役所内に開設</p> <p>かたらいの郷開設</p> <p>名誉市民第2号に菊地勝志郎氏</p> <p>取手市史が完結（全19巻）</p> <p>十文字貴信さん（取手一高）アトランタオリンピックで銅メダル獲得（自転車競技1,000Mタイムトライアル）</p> <p>大字寺田の一部で住居表示実施（駒場1丁目～4丁目）</p> <p>坂口安吾文学展が開催</p> <p>下沼土地区画整理事業着工</p> <p>下高井土地区画整理事業着工</p> <p>取手市・藤代町合併問題協議会設置</p>
1997	9	<p>印鑑証明書、住民票自動発行システム開始</p> <p>生涯学習出前講座開始</p> <p>あけぼの市民緑地開園</p> <p>第1回中学生模擬議会開催</p> <p>子育て支援センター開設</p>
1998	10	<p>第1回健康福祉まつり開催</p> <p>第1回炎の祭り開催</p> <p>「こども110番の家」設置</p> <p>行政機構改革実施（7部30課室に統合）</p> <p>戸頭駅～グリーンスポーツセンター間路線バス開通</p> <p>利根川ふれあいサミット、河川まつり開催</p>
1999	11	<p>御殿場市と災害時相互応援協定締結</p> <p>東京芸術大学取手校地美術学部先端芸術表現科開設</p> <p>相野谷川生活排水浄化施設（新取手地区）設置</p> <p>頑固者賞創設</p> <p>ボランティア支援センター開設</p>

## 1. 沿革と自然

西暦	年号	主なできごと
		<p>ファミリーサポートセンター開設            小堀地区～取手駅周辺間路線バス運行開始            埋蔵文化財センター開館            情報公開制度懇談会設置            白山保育所、子育て支援センター併設施設「ひかりの里」完成            取手リ・サイクリングアートプロジェクト開催</p>
2000	12	<p>市税、保険料、郵便局での口座振替開始            藤代町との公共施設の相互利用協定締結            常総広域7市町村で、あきびんの3色分別開始            利根川鉄橋下、船着場の完成            介護保険制度開始            市環境基本条例・市建築基準条例施行            高井城址公園完成            降雹による被害            第17回国勢調査 人口82,527人            取手駅東口土地区画整理事業完成（昭和57年着工）            市之代農園ふれあい公園完成            一時保育サービス開始            情報公開条例、個人情報保護条例施行            市制施行30周年記念式典開催</p>
2001	13	<p>市の鳥（ふくろう）制定            我孫子市との公共施設の相互利用協定締結            県南総合防災センター開設            家電リサイクル法施行            取手市・藤代町法定合併協議会設置            利根川レンタサイクルステーション開設            戸頭子育て支援センター開設            第50回利根川水系連合水防演習実施            公共施設里親制度導入            グリーンスポーツセンター行バス路線一本化            粗大ごみ有料化実施            市の鳥ふくろうシンボルマーク制定            戸籍事務のコンピュータ化</p>
2002	14	<p>取手駅東口に河川情報板設置（国土交通省）            資源物の行政回収開始            旧取手宿本陣修理工事報告書完成            市の鳥フクロウ、愛称はフクタロウに決定            女性のヘルプ相談開設            とりでアートギャラリーきらり開設            インターネットで本の検索・予約サービス開始            住民基本台帳ネットワークシステム稼動            インターハイ（空手道競技・自転車競技）、グリーンスポーツセン</p>

西暦	年号	主なできごと
		ターと取手競輪場にて実施
2003	15	とりで女性議会開催 げんきサロン開設 公共施設等誘導サイン設置 明日の取手づくり「住民懇談会」開催 「取手プラン生命の樹」実施 いきいきプラザ開設 福祉交流センター開設 小児救急医療輪番制開始 取手100人委員会設立
2004	16	教育懇談会開催 住民基本台帳ネットワークシステム市民サービス開始 合併に伴う住民説明会開催 あきびん収集コンテナ方式導入 「取手市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例」施行 取手市・藤代町合併協定調印 取手市地域情報化計画策定
2005	17	藤代町と合併 人口113,239人 ユーバ市との姉妹都市締結調印 市制施行35周年記念式典開催 県立藤代高校甲子園出場（第87回全国高校野球選手権大会） 第18回国勢調査 人口111,327人 市民憲章・市の鳥・市の花・市の木制定
2006	18	行財政集中改革プラン策定 第五次総合計画策定 第55回利根川水系連合水防演習実施 コミュニティバス運行開始 「子どもの居場所づくり」事業開始 げんきサロン藤代開設 藤代子育て支援センター開設 小学校に非常通報システム設置 JOBANアートライン協議会設置 東京芸術大学との連携協定書締結
2007	19	住居表示実施（桜が丘1～4丁目） 東部子育て支援センター開設 地域包括支援センター開設 防災行政無線供用開始 取手市自転車安全利用条例施行 第二次取手市男女共同参画計画策定 取手市地域防災計画改定 岡堰中の島橋開通

## 1. 沿革と自然

西暦	年号	主なできごと
		市長室公開（市民との懇談） ねんりんピック茨城2007（太極拳交流大会）開催
2008	20	広報とりで1000号達成 JR藤代駅自由通路にエスカレーターとエレベーターを設置 我孫子市と災害時相互応援協定締結 地震ハザードマップ作成 四ツ谷橋リニューアル 聖徳学園と相互連携協定を締結 ユーバ市との姉妹都市締結20周年で御輿贈呈 第23回国民文化祭いばらき2008開催
2009	21	「過度に法人市民税に依存しない財政構造への転換」宣言 「取手市財政運営緊急対応指針」策定 永山保育所改築工事完了 パスポート申請と交付が平日の毎日可能に（6月～） 我孫子市「利根川ゆうゆう公園」相互利用開始 群馬県みなかみ町と友好都市協定締結 市議会本会議をインターネット生中継開始（9月～） 「財政構造改革アクションプラン」策定 常磐快速線利根川鉄道橋架け替え工事着工
2010	22	市立台宿保育所廃止 新大利根橋無料化 取手市地球温暖化対策地域推進計画策定 取手市産業活動支援条例制定 取手市産の新鮮野菜直売「取た手朝市」開始 取手とうきゅう閉店 戸頭「おやすみ処」開設 戸頭駅にエレベーター設置 戸頭公民館にエレベーター設置 駅前窓口取手西口駐車場ビル内に移転 第19回国勢調査 人口109,651人 財団法人取手市都市開発公社 解散 「取手市わが街辞典」を（株）サイネックスと共同発行 市制施行40周年記念式典挙行 トラック協会県南支部と災害協定締結
2011	23	東日本大震災・福島原発事故 常総線「ゆめみ野駅」開業 稲保育所民営化 市立野々井中学校廃校 公共施設マネジメント白書発行 取手駅北土地利用構想～ウェルネス・タウン取手の創造～を策定 県立藤代高校甲子園出場（第93回全国高校野球選手権大会） 取手井野団地お休み処「いこいの+タッピーノ」開設

西暦	年号	主なできごと
2012	24	永山小学校改築工事完了 議員定数の改正により2名減の26人に 名誉市民第3号に木内幸男氏 取手第一中学校と取手東中学校が統合し、新生取手第一中学校となる 臨時災害放送局「とりでFM」(89.4MHz)が8月から半年間限定で開局 全国川サミット開催 都市計画道路中内・大塚線「藤代陸橋」開通 都市計画道路3・4・8号「白山前交差点」開通

## 地積

各年1月1日現在

区分	平成22年		平成23年		平成24年	
	面積(k㎡)	割合(%)	面積(k㎡)	割合(%)	面積(k㎡)	割合(%)
総面積	69.96	100.0	69.96	100.0	69.96	100.0
田	20.50	29.3	20.50	29.3	20.50	29.3
畑	6.34	9.1	6.26	8.9	6.19	8.8
宅地	13.29	19.0	13.34	19.1	13.37	19.1
山林	2.23	3.2	2.22	3.2	2.21	3.2
原野	1.67	2.4	1.67	2.4	1.67	2.4
雑種地	11.07	15.8	11.08	15.8	11.09	15.9
その他	14.86	21.2	14.89	21.3	14.93	21.3

資料：課税課



## 気象状況

平成23年

区分	最多 風向	最大 風速 (m/秒)	平均 風速 (m/秒)	降雨量 (mm)	降雨 日数 (日)	最高 気温 (°C)	最低 気温 (°C)	平均 気温 (°C)	平均 湿度 (%)
年平均	北西	21.9	2.8	104.5	9	26.1	4.6	14.9	65.4
1月	北西	21.7	3.1	0.0	0	13.6	-5.6	3.1	48.1
2月	北西	25.2	3.1	125.0	11	20.3	-4.8	5.4	61.6
3月	北西	24.8	3.4	79.0	9	19.5	-2.6	6.5	55.0
4月	南南西	23.0	3.3	55.5	9	25.6	-1.2	13.1	58.2
5月	東北東	24.4	3.3	201.0	13	27.7	10.8	17.5	68.4
6月	南南西	16.4	2.4	130.5	12	35.3	10.7	21.9	74.9
7月	南南西	21.1	3.2	95.0	10	35.6	14.7	26.4	71.4
8月	南南西	14.4	2.6	112.5	10	36.2	19.0	26.6	75.5
9月	南東	31.5	2.9	179.5	8	33.9	12.8	24.1	72.1
10月	北東	19.4	2.5	145.0	12	27.9	4.9	17.7	70.1
11月	北西	22.3	2.0	87.5	7	22.3	0.1	12.4	69.9
12月	北西	19.7	2.9	44.5	8	16.0	-3.4	5.1	59.7

資料：消防本部

### 平均気温と降雨量



